

精神障害者の医療費助成

県が、前向きに実施を検討

9月
県議会
9/10～30

石井知事が、ひづめ県議に答弁

9月県議会では、ひづめ県議が一般質問。津本県議が予算特別委員会で質問しました。ひづめ県議は、①県内経済と産業（消費税増税、日韓問題、豚コレラ問題）②障害者問題 ③幼児養育・保育の無償化 ④自治体の職場環境 などを取り上げました。

（一部を紹介します）



9/17 本会議で一般質問

県単独医療費助成制度
「身体・知的と同じに精神も」

精神障害者の医療費は、国が精神科の通院は1割負担に軽減しているものの、それ以外は3割負担です。障害者団体からは、精神障害者も身体・知的と同じように県単独医療費助成制度の対象にし、負担軽減をとの要望が出されてきました。昨年2月県議会で、ひづめ県議が実現を求めて質問。富山市議会でも、日本共産党の小西直樹議員が取り上げ、それを受け富山市も、県に要望してきました。

32都道府県ですでに
なんらかの形で実施

9月7日には、富山障害フォーラム主催の企画「これからの精神障害者福祉を考える」が開催され、精神障害者福祉の拡充が訴えられました。ひづめ議員は質問で、その取り組みを紹介し「精神障害者も知的、身体と同じ障害者福祉の対象」「差別してはならない」と述べました。知事は「市町村と検討・研究し、できるだけ早期にまとめたい」と答弁。ひづめ議員は「新年度予算案に間に合うように結論を」と念を押しました。



9/5 障害者団体との懇談で、様々な要望をうかがう(津本ふみお県議らと)

障害者雇用「水増し」から1年
県教委は、まだ60人以上不足

昨年8月に発覚した、国と自治体による障害者雇用「水増し問題」。政府機関では、昨年10月から新たに3,131人の障害者を採用したものの、すでに161人が離職したことが明らかになっています。

県はその後22人を採用し法定雇用率を達成したものの、県教育委員会は未だ60・5人が不足（非正規雇用は0・5人とカウント）。県内市町村も合わせて46・5人が不足しています。

ひづめ県議は、雇用率早期達成とともに、正規採用者の拡大を要望。合わせて、障害者トイレ、休憩スペース、ジョブコーチの配置や、手話の普及など「合理的配慮」と、働き続けられる職場環境への努力を求めました。

富山県美術館
バリアフリー化の促進を

県立施設のバリアフリー化を要望したひづめ県議。障害者団体の要望をもとに、富山県美術館の点字標記の充実、階段の手すりの改善、視覚障害者用展示などの配慮を求めました。

生活環境文化部長からは「貴重な指摘」「改善を検討したい」と答弁がありました。

豚コレラ対策 豚へのワクチン接種を早く

共産党提出の「意見書」を全会一致採択

北陸3県の経済指標も悪化
この時期の消費税増税は最悪

10月1日、消費税増税が強行されました。直前の質問でひづめ県議は、実質賃金が7か月連続で減少し、この5年間で家計消費も年平均20万円減少していると指摘。米中貿易摩擦や日韓関係悪化など輸出の厳しさもあげ、「このタイミングでの増税はきわめて危険」と述べました。

混乱も小さくありません。共同通信の調査でも「増税後の経済が不安」81%、増税に「反対」51・3%です。日本共産党は最後まで増税の中止を求めつつ、強行後は減税実現のために頑張ります。

複数税率による混乱
キャッシュレス対応は25%

しかも、専用レジの導入やキャッシュレス対応など、県民の負担や



10/1 消費税増税に抗議し、5%への減税へ決意を述べる(藤野やすふみ衆院議員らと JR 富山駅北)

昨年9月に岐阜市で、26年ぶりに国内で確認された豚コレラ。豚とイノシシの伝染病で、感染力が強いため、1頭でも感染が明らかになった養豚場の豚は、すべて殺処分となります。感染を防ぐ最も有効な手段は、豚へのワクチン接種です。ところが国は、豚の輸出に不利になるとの理由で、ワクチン接種を回避。感染がこれまでに8府県に拡大し、14万頭が殺処分されました。

国への強力な働きかけを
知事に迫る

県内でも、野生イノシシへの感染が相次いで見つかり、豚への感染拡大の危険が迫っています。ひづめ県議は、知事に「国への緊急要請など、強力なアクションが必要ではないか」と迫りました。

これに対し、知事も「関係県とも相談して対応したい」と答弁。急きよ3日後に、岐阜県知事など8県で共同し、農林水産大臣に直接要請。国も、その日にワクチン接



8/8 農水省に豚コレラ対策の強化を要望(北陸信越ブロックの共産党国会議員、県議のみなさんと)

はひづめ、津本の両議員も全会一致で採択されました。

養豚農家の懸命な訴え
「ワクチンの接種を二日でも早く」

しかし、ワクチン接種までには、防疫指針の改正など、まだ手続きが必要です。9月30日の本会議では、ワクチン接種の早期実現などを求めた「豚コレラ対策の強化を求める意見書」とあわせて、農民運動富山県連合会が提出した「豚コレラ対策を求める請願」(紹介者はひづめ、津本の両議員)も全会一致で採択されました。

種の方針を発表しました。

日本共産党県議団 2019年10・11月

県議会報告 No.64
ひづめ 弘子 版

〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12
電話(076)432-8383 FAX(076)442-1220
Eメール/hiroko.jcp@sand.ocn.ne.jp



●ご意見、ご要望を何でもお寄せ下さい。